

# FDG PET/CT 検査説明書

ID

氏名

様

## 1. PET/CT 検査について

ブドウ糖類似体に放射性同位元素を標識した  $^{18}\text{F}$ -FDG という薬剤（以下、FDG）を静脈注射し、全身に行き届いた後に PET/CT 装置で撮影を行い、病気の原因や病状を画像にして診断をする検査です。

## 2. 安全性について

検査において使用する FDG は、重篤な副作用の報告はありませんが、稀に嘔気・そう痒感（1.1%）などを起こすことが報告されています。

## 3. 被ばくについて

FDG は非常に強い放射線を放出しています。PET/CT 検査 1 回で約 9.0mSv という量の被ばくを伴います。これは胃のバリウム X 線検査を 2 回受ける放射線量とほぼ同等です。

## 4. 検査中について

注射後は極力安静にして頂き、注射後約 2 時間は検査区域から退出することはできません。注射後はスタッフの被ばく防止の観点から、防護ガラス越し、距離をおいての対応になることをご了承ください。

## 5. 付き添いについて

患者様おひとりで寝台への昇降が困難な場合や、視力・聴力に障害をお持ちの場合には、ご家族の付き添いをお願いする事がありますのでご協力をお願い致します。

## 6. 検査後について

患者様自身から放射線が放出されますので、検査終了後約 12 時間は、乳幼児や妊娠されている方との密接な接触はなるべく控える様お願い致します。それ以降に制限等はありません。

## 7. PET/CT 検査の限界について

病気の種類によっては見つけ難いものもあり、また 1cm 以下の大きさの物は発見されない場合もあります。血糖値の高い場合にも発見されない場合があります。

## 8. PET/CT 検査の医学的利用について

この検査で得られた画像や結果等は、検査を受けた患者様が特定できないように十分に配慮した上で、学術・研究等に利用させて頂く事がありますので、ご理解とご協力をお願い致します。

## 9. キャンセル等について

注射日当日のキャンセル、連絡なくキャンセルされた場合は、検査薬は保存ができませんので、検査薬費用（49,720 円（税込））をお支払いいただくことがあります。（「FDG PET/CT 検査予約票」8.を参照）

担当医師（主治医）：



国際医療福祉大学 成田病院

TEL 0 4 7 6 - 3 5 - 5 6 0 0